～九州版　ひびき～ vol.7

2014年　5月1日
九州教区女性会18期役員会

拡大会長会報告号

主の聖名を讃美いたします。
イースターおめでとうございます。各女性会（婦人会）のみなさまも主の復活の喜びに満ち、歩んでおられることでしょう。4月6、7日に行われた拡大会長会の報告をいたします。

拡大会長会　2014年4月6日18時30分より　箱崎教会

野村加寿子姉の「開会の祈り」から6日のプログラムが始まりました。
アイスブレイクを担当してくださったのは秋山綾子姉（宮崎教会）。お隣の方を紹介する他己紹介から場が和みます

30枚のポストカードの中から今の自分の気持ちに合うカードを1枚選び、その理由を発表しあいました。

選んだカードも理由も、十人十色。最も人気があったのは、一本の木へ続く一本の曲がりくねった道を写したカードでした。

「私の教会を漢字 1 文字で表すと？」、のお題では「伝」「喜」「友」「和」「革」等の漢字があがり、各々の思いを分ち合いました。アイスブレイクという言葉の通り、心の壁を解かし、お互いのことを少しずつ知り合えた時間となりました。秋山綾子姉ありがとうございました。

晩祷　和田憲明牧師

テゼ共同体の歌を用いた「黙想と祈り」の時。

♪ 見よ　兄弟が　共に座っている
　　なんという恵み　なんという喜び

聖書　ローマの信徒への手紙 12 章 9～12 節

♪ いつくしみと愛のあるところ　神ともに

日常ではなかなかとれない黙想の時間。静かに美しく讃美の声が響きました。

4 月 7 日　二日目　朝祷

昨晩の讃美がとても美しかったので、プログラムにはありませんでしたが朝も讃美歌を歌いました。
213 番　朝露に輝き咲ける野の花は

協議①サバ神学院支援についての検討

協議に先立ち、2004 年サバ訪問時の写真を、続いて昨年 10 月のサバ神学院創立 25 周年記念式典及び卒業式に出席した時の写真をスクリーンに映写しました。実際訪問された姉妹の解説も交え、サバの様子を伺い知ることができました。

あらかじめ各教会に送付した資料をもとに、話し合ったことを報告していただきました。

□<u>支援継続賛成意見</u>

- 現在の教会（私たち）は外国の支援により建てられ、育まれてきた。
- 会員減少で支援額も減額しても、細く長くでも続けたい。継続は力なり。
- 過去の戦争において日本軍が犯した罪に対する贖罪の意味もある。現在の政府の歴史認識の問題もあり、支援を続けることの意味は大きい。

- イスラム圏で障害の多い中での宣教。500円でこのように大きな支援ができるのであれば、支援を続けたい。
- 緊急性のある支援先が他にあるのならば別だが、ないのであれば継続。
- 「人への支援」をこれからも続けていきたい。

- 国内にも支援が必要なところもある、と思う一方で視野を広く持つことが大事だとも思う。
- 外へエネルギーが出せるところは内でのエネルギーも溢れているのではないか。
- 一旦切ってしまったものを再び興すには、相当の力がいる。
- 500円という支援は私たちが伝道に一緒に加わっている、ということ。助けてあげているということではなく、伝道活動に加わっているという前向きな意識を持ってよい。
- 支援当初から目は常に外へ、という意識を持っている。
- ある程度長い期間支援しなければならないと思う。
- 伝道の前線でがんばっている若い神学生を援助できることは私達の喜びにつながっている。
- サバの人達が必要と希望されるなら続けた方がよい。

■支援継続反対意見

- 始めた支援も終わりも必要なのではないか。
- 当初10年と決まっていた。
- よく分からない。支援の成果が分からない。
- イスラム教の中へキリスト教が入っていくことの必要性に疑問を感じる。
- 日本国内のルーテル教会の牧師が足りない現状がある。国内の牧師を増やすことに力を注ごう。

◇その他意見・要望　等

- 20年はひとつ区切りの時期ではないか。立ち止まり考えることも必要ではないか。
- 盛り上げるためには別の訴え方が必要。
- 連盟から離して別の新しい組織（サバの宣教を支援する会）を作ることを提案。女性会という枠をとって位置づける、ひろく教会全体へ呼びかけることが出来る。
- 500円×会員数だと今の支援額にしかならない。ミニバザーなどの売り上げの一部を、プラスする等と申し合わせができると支援額も上乗せしていけるのではないか。

- スライドの貸し出し等必要。会員への働きかけ方、よく知ってもらう具体的な方法を考えないといけない。
- 総会でのサバ支援についての議題になった時の空気が残念。大切な宣教の形なのに、マイナスのイメージを持ってしまう方もいる。
- 「交流」の一つの例として、日本の神学校とのリンク。神学生同士の交流を提案。
- 本教会への働きかけも必要。
- 牧師がサバの存在を納得しているか、日本の教会にとってもこの支援がどれだけ大事か判ってくれるかどうかにかかっている。連盟から神学校への働きかけは、サバ支援の一つとして考えてほしい。

昼食

「連盟の『？』に答えます」では、ACWC のリーストコインの交わりと署名キャンペーンの違いついて説明。またLWF/WICAS協力委員俵姉からは、本教会常議員会における女性の数など、LWFの決議事項とかけ離れた日本の状況について、お話しいただきました。

協議② シルバープロジェクト小冊子について

シルバープロジェクト委員会谷口美樹委員長より、これまでの委員会の経緯と小冊子の作成について報告していただきました。

シルバープロジェクト委員会
谷口委員長

- 13 期(1998 年)宮崎での修養会にてシルバープロジェクトが発足
- 2012 年第 18 回総会にて、箱ものではなく訪問時や家庭礼拝等に役立つものを作成することを確認
- 同年シルバープロジェクト委員会を設置
- これまでの経緯をまとめる
- アドバイザーとして立野牧師に入って頂く
- 当初 CD 作成案があったが、小冊子作成に変更
- 小冊子「いこいのみぎわ」試作完成
- 文字体の統一・ラミネート加工については今後検討し改良する
- 夏までに、各教会で用いた感想や意見をきき、今年中に完成させる予定
- 印刷業社に発注することを承認

協議③役員選出について

役員選出方法について、下記のような意見がありました。これらを受け、教区役員会でも検討を続け、また次回秋の会長会でも話し合いたいと思います。

- どの教会も高齢化、会員減少がすすんでいる。教区全体から選出してはどうか。
- 現在の3ブロックから2ブロックに再編してはどうか。
- 南地域(宮崎、鹿児島)は遠い、交通費がかかるからとの理由で役員にはなっていない。
  離れた教会のことも憶えてほしい。
- 全体から選出。選考委員会が必要、各地区の代表も必要。
- 役員が多すぎるのではないか。組織を縮小した方がよい。小さい教会には役員負担金額負担も大きい、もっと我が教会の中に人もお金も使いたい。
- 信徒大会のように、男女区別せず合同の組織でもよいのでは、と思うところもある。
- 連盟役員選出方法については、東海教区が担当となり小委員会を開き話し合っている。
  それを受け連盟役員会で検討はするが、すぐに変更されることはない。

連盟総会のための積立について:

教区役員が連盟総会出席する為に年間5万円の積立を続けてきた(約30万円の残高)。役員減少や旅行パックを利用することにより費用は低減している。よって連盟積立は廃止し通常会計に繰入れを検討している、と山本会計が説明。次回秋の会長会でも協議したいと思います。

閉会礼拝　司式・説教:池谷考史牧師　奏楽:深町敦美姉

讃美歌　371番　／　365番

聖　書　マルコによる福音書1章16節～20節

説　教:神学生のころ、山谷の「ほしくずの会」の活動に携わっていた。次第に自分のこの奉仕は人のためではなく自分が報われるためなのかと自己嫌悪に陥った。聖書は働き人について、ふさわしい資質は書かれていない。彼らは主によって許されたから、ただ主に召し出されたからである。こんな自分でもさせていただいているだけ、と思うと肩の力が抜けた。私自身が持ち合わせているものは小さいもの。自分ができるかできないか、する物事の大きさに関心を持つのではなく、奉仕は主に許されてするもの。感謝の思いは忘れたくない。小さい者だと気がついた時、助け合いも生まれる。

閉会礼拝:池谷牧師(博多／福岡西教会)

献　金　(席上献金40,000円は「喜望の家」「若枝奨学会」におくりました)

祝　祷

お手伝いくださった箱崎教会の姉妹

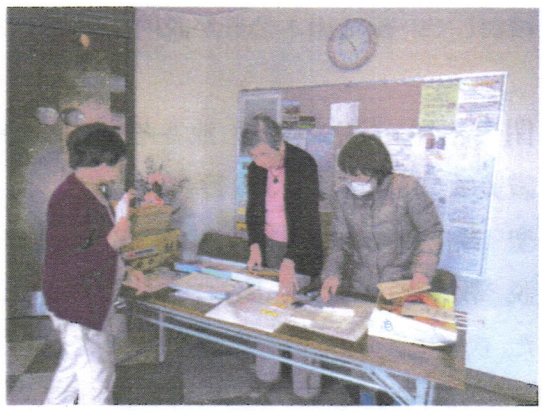
～拡大会長会を終えて～

お天気を心配しておりましたが、なんとか晴れでした。感謝です。でも、寒かったですね。　主日の礼拝後、愛餐、役員会、また午後の礼拝の教会もあり、みなさま本当にお忙しい中おあつまり頂き重ねてお礼申し上げます。

アイスブレイクというちょっと耳慣れない言葉ではじめました。集まった方々の心の緊張が解けるようにとのプログラムでした。秋山綾子姉の準備くださったかわいい絵のグループ分け、これだけでなんだかワクワクしました。自分の気持ちにぴったりの絵を選ぶって楽しかったですね。テゼの讃美、静かにながれました。サバ神学校の神学生支援について、各教会よく話し合ってきてくださり嬉しい事でした。

シルバープロジェクトはついに、形を成しました。委員さんありがとうございました。今後、もう少し改良し完成することでしょう。ご活用ください。（山本裕子）

役員を中心に、箱崎教会女性会の大きなお手伝いをいただいて準備してきた会長会が開かれました。あらかじめ各教会で話し合われてきた２つのことについて意見を出し合いました。6 日夜の楽しい交流の時を持った効果によって、なごやかな雰囲気のなかで進められました。とくにサバ神学校支援については多くの思いや考えが述べられました。それぞれの教会できちんと支援について話し合われてきたことがわかりました。皆が同時に集まることの出来ない少人数の女性会長さんはお一人お一人を訪ねられたそうで、頭が下がりました。私達は顔を合わせ話し、共に食事をとるという何気ないことも、そこに神様の祝福があり、一人一人を励まして下さっていることを強く感じました。やむを得ずに来れなかった方々、次の時は是非お会いできることと楽しみにしています。（財津悠子）



受付準備をする箱崎教会姉妹と役員

☆拡大会長会会計報告☆

収入		
参加会費	33,000	1,000 円×33 人
プール制負担金	32,000	2,000 円×16 教会
閉会礼拝献金	40,000	
会計集会費より	70,600	
合計	175,600	

支出		
交通費各教会プール費	41,150	13 教会
委員交通費、宿泊費	40,500	サバ委員、シルバー委員 5 名
役員交通費、宿泊費	17,750	役員 4 名
お弁当代	19,000	
茶菓代	4,200	
献金	40,000	喜望の家、若枝奨学会＊
会場費	5,000	
謝礼	8,000	
合計	175,600	

※個人、献金（山本武子姉）　カード販売益　10,000 円女性会へ

＊今回献金の送り先について

喜望の家：日本福音ルーテル教会の釜ヶ崎ディアコニア・センターとして地域（大阪市西成区）で活動しています。主に相談活動を中心に、アルコール依存症から回復をめざす人のための「回復プログラム」を行っています。また釜ヶ崎地域全体の問題に取り組んでいます。宗教法人のため職員の給与から活動費に至る運営費用は、ほぼ全て献金・寄付金でまかなっています。また、宗教法人として活動の一環ですから、利用者本人への行政による助成金は、制度的にもありません。

若枝奨学会：健軍教会が教会創立60周年を記念して創設した奨学金事業です。熊本ライトハウス、広安愛児園、こどもL.E.C.センターを卒園する学生であって、経済的な支援が必要な学生が大学や専門学校で学びを続ける場合、返還義務のない奨学金を支給します。年間2～4名程度の学生を支援する計画です。詳しくは健軍教会まで。

2014年　　拡大会長会 出席者

No.	教会	氏名	備考	No.	教会	氏名	備考
1	小倉	穂坂良子	7日のみ	21	熊本	森上ハルミ	7日のみ
2	八幡	幸松弘子		22		芳田裕子	7日のみ
3		岩切旻世	役員	23	室園	清重慧子	
4	箱崎	義村寿美子		24		河野久美子	シルバーP・サバ
5		福留美弥子	7日のみ	25		俵　恭子	サバ委員7日のみ
6		山本裕子	役員	26	大江	谷口美樹	シルバーP委員
7	博多	日笠山多恵子		27		寺本　晟	
8		吉村博子		28	神水	岡田レツ	
9		財津悠子	役員	29		平山美保	
10	二日市	白髭　檀		30	健軍	安藤　惠	
11		松永真理子	7日のみ		合志	欠　席	
12	久留米	原　真理			八代	欠　席	
13		岩切華代	7日のみ		水俣	欠　席	
14		里村朝子	シルバーP7日のみ	31	大分	野村加寿子	役員
	田主丸	欠　席			日田	欠　席	
15	甘木	森部栄子		32	宮崎	秋山綾子	サバ委員
16		益永和代		33		三好けい子	
17	唐津	本野武子			鹿児島	欠　席	
18		内野直恵		34	箱崎・聖ペテロ	和田憲明牧師	女性会担当牧師
19	大牟田	小林茂子		35	博多・福岡西	池谷考史牧師	7日のみ
20	玉名	坂本陽子			35名(うち7日のみ9名)		

編集後記：拡大会長会報告号いかがでしたか？和やかなアイスブレイク、真剣な協議、少しでも伝わるようにと努力していますが、「伝える」ことは本当に難しいですね。
最後になりましたが、今回も箱崎教会のみなさまには準備段階から大変お世話になりました。
他にも役員が手の回らないところを助けて下さったみなさま、ありがとうございました。

（岩切旻世）